



④ じん機能障害の身体障害認定基準

等級	(内因性クレアチニン クリアランス ml/分) 血清クレアチニン濃度 mg/dl	eGFR(推算糸球体濾過量) 単位 ml/分/1.73 m <sup>2</sup>	そ の 他
1	(10 未満) 8.0 以上	適用なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活活動が著しく制限</li> <li>・ 又は、血液浄化を目的年経治療が必要</li> <li>・ もしくは、近い将来に必要</li> </ul>
3	(10 以上～20 未満) 5.0 以上～8.0 未満	10 未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温和な日常生活に支障なし</li> <li>・ それ以上の活動は著しく制限</li> <li>・ 又は次のいずれか2つ以上の所見               <ul style="list-style-type: none"> <li>a じん不全に基づく末梢神経証</li> <li>b じん不全に基づく消化器症状</li> <li>c 水分電解質異常</li> <li>d じん不全に基づく精神異常</li> <li>e エックス線写真所見における骨異栄養証</li> <li>f じん性貧血</li> <li>g 代謝性アシドーシス</li> <li>h 重篤な高血圧症</li> <li>i じん疾患に直接関連するその他の症状</li> </ul> </li> </ul>
4	(20 以上～30 未満) 3.0 以上～5.0 未満	10 以上～20 未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通の日常生活若しくは社会での極めて温和な日常生活に支障なし</li> <li>・ それ以上の活動は著しく制限</li> <li>・ 上記の a～i のいずれか2つ以上の所見</li> </ul>

※ 透析患者はほとんどが1級に認定される。

※ 腎移植後は免疫抑制剤を服用している場合は身体障害者とされ、手帳を変換する必要はありません。